

2020年度の名古屋市博物館

1 階展示室 特別展・企画展

4/18

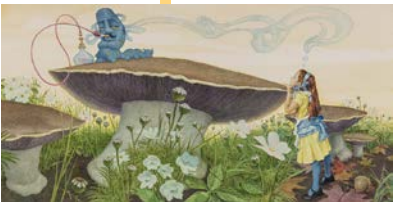
6/14

特別展

不思議の国のアリス展



作家ルイス・キャロルの名作「不思議の国のアリス」は、誕生から今年で150年余となりました。物語の世界観や個性豊かなキャラクター達は、現在もお人々を魅了し続けています。本展では、原点ともいえる原画から、影響を受けた現代作品まで、日本初公開を含む貴重な資料を紹介し、アリスの不思議な魅力の秘密をひもといていきます。



(上)ルイス・キャロル
ノ画:ジョン・テニエル《切手ケース》(部分)
Lewis Carroll,
The Wonderland postage stamp case,
The Rosenbach, Philadelphia

(下)チャールズ・サントレー
『不思議の国のアリス』第5章より
『イモ虫からの忠告』
© 2017 Charles Santore

7/18

9/6

特別展

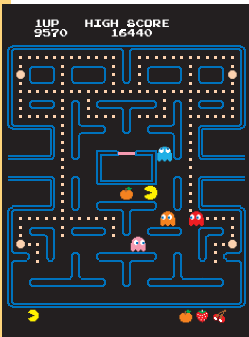
ゲーセンミュージアム

～この夏、博物館はゲームセンターになります。～



スペースインベーダー
© TAITO CORPORATION 1978, 2020
ALL RIGHTS RESERVED.

みなさんはゲームセンターで遊んだことがありますか。博物館では今回、ゲームセンターを遊び場のひとつとして考え、デパートの屋上、ボーリング場、インベーダーハウス、喫茶店、駄菓子屋、大型ゲームセンターといったゲームができる遊び場を紹介します。



パックマン
© BANDAI NAMCO Entertainment Inc.

ゲームはピンボール、スペースインベーダー、パックマンなどなど。ほぼすべてのゲームがプレイ可能な大規模展です。協力:日本ゲーム博物館(株式会社小牧ハイウェイ企画)

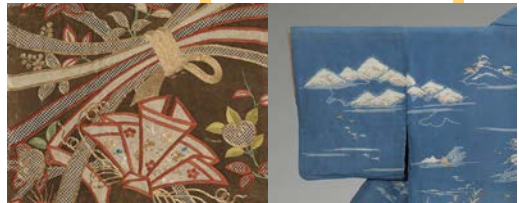
10/10

12/6

特別展

模様を着る

衣服や布を彩る模様。その模様は伝統を大切に受け継がれながら、時の流行に刺激され、新しいものが生み出されてきました。百貨店の松坂屋は新しい呉服デザインの創作の参考として、さまざまな時代、地域の布地を、小さなハギレにいたるまで集めました。本展ではコレクションにみられる模様を通して意味を探りながら、そこから見える人々の暮らしや想いにも迫ります。見て楽しく、あなたの創造意欲も刺激するテキスタイルデザイン集です。



茶繪子地製斗蝶橋模様小袖裂
(松坂屋コレクション)

納戸縮地近江八景模様小袖
(部分、松坂屋コレクション)

2021

1/9

企画展

なごやのうつりかわり

ーうみ・やま・まちのくらしー



昭和40年頃の海辺で遊ぶ子どもたち(寺西二郎写真資料)



昭和40年頃の名古屋市中区栄(寺西二郎写真資料)

小学校3年生は社会科の授業で、名古屋市の様子や人々の生活のうつりかわりについて学習します。それに合わせて開催する本展では、名古屋市を構成する「うみ(沿岸部)」「やま(丘陵部)」「まち(町場)」の特徴と生活の変化を紹介します。また、名古屋駅や名古屋港の始まり、電気やガスの普及など、生活に大きな影響を与えた出来事を取り上げて、明治時代から現在にかけて名古屋市がうつりかわる様子をたどります。

2 階展示室 常設展「尾張の歴史」

16のテーマに沿って尾張の歴史を紹介するとともに、展示室の一部では、以下のスケジュールで特集展示を行っています。

■フリーールーム 長期間展示できない資料や新収資料などを中心に、小規模な企画展示を随時開催しています。

3/25

5/24

5/27

6/21

6/24

新発見 高蔵遺跡

熱田区高蔵遺跡は弥生時代の大集落、古墳時代の古墳群として有名です。最新の発掘調査からその魅力に迫ります。共催:名古屋市教育委員会 土偶 熱田区高蔵遺跡出土 名古屋市教育委員会蔵



空襲で焼失した
旧国宝・熱田神宮皇門

空襲で市街の大半が焼かれた名古屋では多くの建築が失われました。また戦後の開発によって、各地の風景も大きく変わりました。名古屋と近隣地域の失われた風景を、絵葉書に遺された写真と絵で紹介しています。

エルモ社と小型映画

小型映画は、家庭で扱いやすい小さなフィルムを使う映画の形式です。名古屋創業の小型映画機器メーカー、エルモ社の資料とともにその歴史をたどります。



国産初の16ミリ映写機 エルモA型

8/23

8/26

伊勢湾台風61年

昭和34年(1959)9月26日に襲来した伊勢湾台風から61年。昨年度開催の「特別展 治水・震災・伊勢湾台風」に引き続き、新収資料を中心に大災害の知られざる実態を紹介します。



港区南陽小学校校庭に積もった泥

10/25

10/28

中国・日本歴代銅鏡

古代から中国で作られ日本にも伝わった銅鏡は、神秘的な力をもつ文物として珍重されてきました。中国・日本の銅鏡のさまざまなデザインと不思議な世界をご覧ください。



方格四獣画像鏡
(松本コレクション)

12/15

2/21

2/23

3/21

江戸時代の墓石

江戸時代、故人供養のための墓石造立が大名から一般民衆まで広く普及し、一定の墓制が確立しました。尾張地方の墓石を中心に、当時の墓事情を紹介します。



板碑形(いたびがた)の墓石

天下人と清須

室町時代より尾張守護所として発展し、天下人の活躍舞台となった清須。目まぐるしく代わる政権のもとでの城下町・清須の様子を紹介します。



豊田秀吉条々 名古屋市秀吉清正記念館蔵

3/25

5/24

5/27

6/21

6/24

狐の嫁入り

擬人化された狐たちが装束をまとうて花嫁行列をなす「狐の嫁入り図」の江戸後期における作例を紹介します。



浮田一恵 狐の嫁入り図(部分)



渡辺清 椿本人麻呂像(部分)

歌仙絵

優れた和歌の詠み人(歌仙)の姿を描いた絵を「歌仙絵」と呼びます。館蔵品を中心とした絵画作品から、パリエーション豊かな歌仙たちの姿を紹介します。

江戸時代の火縄銃

室町時代後期に日本に伝わり、いくさの様相を大きく変えた火縄銃。江戸時代には武士の学ぶべき武芸の道具として独自の進化を遂げました。近年の収蔵品を中心にご紹介します。



火縄銃 銘渡邊源之丞作

8/23

8/26

阪正臣

阪正臣(ばんまさおみ、1855-1931)は、名古屋出身の歌人・書家です。歌や書の教育にも尽力し、教科書の執筆も手掛けています。書作品や著作を中心に、彼の業績を紹介します。



阪正臣 松岡井賛(部分)

10/25

10/28

十一屋小出庄兵衛家



江戸時代から尾張藩御用達の呉服店として繁栄し、近代には百貨店「十一屋」として人々に親しまれた、十一屋小出庄兵衛家についてゆかりの品々より紹介します。

十一屋店先
(「尾張名所図会」前編巻一より)

12/15

2/21

2/23

3/21

中林竹洞・竹溪 粉本資料

名古屋生まれの文人画家・中林竹洞(なかばやしちくとう、1776-1853)とその息子竹溪(ちつけい、1816-67)の粉本群(ふんぼん、下書きや手本とするための模写)から、2人の創作の秘密にせまります。



相馬九方肖像下絵(部分)
(中林竹洞・竹溪粉本資料より)



打掛

豊根村熊谷家の衣装

熊谷家は愛知県豊根村にある江戸時代の建築様式が残る民家です。婚礼衣装や紋付羽織など、同家に伝わる明治から昭和にかけてのさまざまな着物を紹介します。



3/25

5/24

5/27

6/21

6/24

河水車の龍神唐子

戦災を経て若宮祭から出来町天王祭へと受け継がれた山車「河水車」。かつて若宮祭で引かれていた頃に使われていたからくり人形「龍神唐子」を紹介します。



龍神唐子人形 中之切奉賛会蔵

頼朝車の大幕



頼朝車大幕(背面部分)
同屋町町内会蔵

清須市西枇杷島町間屋町の山車「頼朝車」。尾張藩主から下賜されたとも伝わる見事な大幕の一部を紹介。

写真で見る昭和のまつり

近年新たに収集した写真資料から、昭和30年代前後のまつりの様子を紹介します。名古屋まつりや七夕祭りなどの様子を、かつての町の風景や人びとの姿と共にご覧ください。



円頓寺商店街の七夕祭り(山田芳写真資料)

8/23

8/26

紅葉狩車山車模型とサンピン人形

中村区上花車の山車「紅葉狩車」。そのからくり人形のうち「サンピン人形」を、山車本体の模型とともに紹介します。



サンピン人形 紅葉狩車保存会蔵

10/25

10/28

土人形の世界

まつりなど季節の行事にゆかりのある土人形。そのなかには、さまざまな色や形をしたものがあります。素朴であたたかい土人形の世界をお楽しみください。



七尾神社の亀乗り天神

12/15

1/24

1/27

3/21

正月の遊び

すごろくや羽子板、名古屋独特の風など正月の遊び道具を展示します。



羽子板と羽根

ひな人形

女の子が健やかに成長するようにと願いが込められたひな人形。美しく優しいお顔の人形たちをぜひお楽しみください。



雛人形



*画像のうち、特に表記のないものは、名古屋市博物館・名古屋市蓬左文庫・名古屋市秀吉清正記念館の収蔵品です。

イベント・セミナー ※参加にあたり、障害等により特別な配慮が必要な方は、事前申込みの事業は申込み時に、当日参加の事業は2週間前までに博物館にご相談下さい。

歴史体験セミナー

②④の応募は、往復はがき(1通2名まで)。参加者氏名・年齢・希望日時・住所・電話番号(記載)・名古屋市電子申請サービスのいずれかにてご応募下さい。詳しくは、博物館公式サイトをご覧ください。

- | | |
|-----------------|--|
| ① むかしのおもちやで遊ぼう！ | 7/18(土)～9/6(日) 開館日の9:30～17:00 会場:1階特別展示室 参加費:無料 |
| ② 自分だけのまが玉づくり | 8/22(土)・23(日) 各日2回 (1)10:00～11:30 (2)13:30～15:00
定員各回50人(小学校3年生以下は要保護者同伴) 参加費:1人400円
※要事前申込(申込期間:7/1～7/17必着) |
| ③ 正月のおもちや | 12/15(火)～1/24(日) 開館日の9:30～16:30 会場:2階常設展示室 常設展観覧料が必要。 |
| ④ おいしく作ろう おこしもん | 2/20(土) 2回 (1)10:00～11:00 (2)11:30～12:30
定員各回60人(小学校3年生以下は要保護者同伴) 参加費:1人400円
※要事前申込(申込期間:1/5～1/27必着) |



各種イベント

当館にて開催する様々なイベント。詳しくは、博物館公式サイトをご覧ください。

- | | |
|--------------|---|
| ① ワークショップまつり | 7/25(土)・7/26(日) 常設展観覧料が必要。
博物館ボランティアによるワークショップまつりです。 |
| ② ナイトミュージアム | 8/2(日) 夜の博物館を体感するイベントです。常設展で開催します。参加費無料。 |
| ③ はくぶつかん古書市 | 10/10(土)～10/18(日) |

はくぶつかん講座

当館学芸員等が講師をつとめる講座です。10:00開講(9:30開場)。聴講無料。各回、当日先着100名。

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| 第1回 4/25(土) 高蔵遺跡の歴史と最新の調査成果 | 第6回 10/31(土) 新発見の中国・呉の銅鏡 |
| 第2回 5/30(土) 歌仙絵 | 第7回 12/19(土) 江戸時代のお墓事情 |
| 第3回 6/6(土) 時の記念日100周年記念「時」を知る | 第8回 2/13(土) 戦前の名古屋と近郊の風景 |
| 第4回 6/20(土) 尾張の武士さまざま | 第9回 2/27(土) 天下人と清須 |
| 第5回 9/26(土) 写真で見る伊勢湾台風 | 第10回 3/6(土) 石器の話 |

本年度の事業計画は今後変更される場合があります。最新情報は博物館公式サイトで。 <http://www.museum.city.nagoya.jp/>

2020.4-2021.3

名古屋市博物館

名古屋市蓬左文庫

名古屋市秀吉清正記念館

■ 利 用 案 内 ■

名古屋市博物館

〒467-0806

名古屋市瑞穂区瑞穂通1-27-1

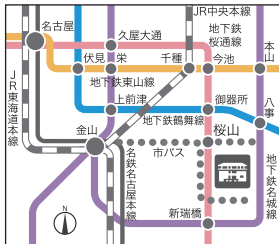
電話052-853-2655 ファックス052-853-3636

□開館時間 9時30分～17時(入場は16時30分まで)

□休館日 毎週月曜日(祝日にあたるときは、その直後の平日)、
毎月第4火曜日(祝日を除く)、館内点検休館(12月7日～14日)、
年末年始休館(12月28日～1月4日)

□観覧料

- 常設展 一般300(250)円、高大生200(150)円、中学生以下無料。
※()内は30名以上の団体料金。高大生・中学生は学生証の提示が必要。
市内在住の65歳以上の方100円(要敬老手帳等)。
- 特別展・企画展 そのつど定めます。



2020年12月7日～12月14日は、
館内点検のため休館します。
ご注意ください。

お出かけは
公共交通機関で。

- 交通 ●名古屋駅から地下鉄桜通線で17分「桜山」下車、4番出口から南へ徒歩5分
●金山バスターミナルから
市バス金山14系統(桜山経由)「博物館」下車
- 駐車場 70台収容 普通車:1回300円 大型バス:1回1,200円
- 最新情報は博物館の公式サイト・公式Facebookで。
<http://www.museum.city.nagoya.jp/>、<http://facebook.com/nagoya.city.museum/>

名古屋市蓬左文庫

〒461-0023

名古屋市中区徳川町1001

電話052-935-2173 ファックス052-935-2174

□開館時間 10時～17時(入室は16時30分まで)

□休館日 毎週月曜日(祝日にあたるときは、その直後の平日)、
特別整理・年末年始休館(12月14日～1月4日)

□観覧料 一般1,400円 高大生700円 小中生500円(徳川美術館と共通)

- 交通 ●名古屋駅より
市バス基幹バス2号系統・名鉄バス(栄経由)「徳川園新出来」下車、徒歩3分
なごや観光ルートバス メーグル「徳川園・徳川美術館・蓬左文庫」下車すぐ
●大曽根より JR中央線「大曽根」下車、南出口より徒歩10分

名古屋市秀吉清正記念館

〒453-0053

名古屋市中村区中村町茶ノ木25(中村公園文化プラザ2階)

電話052-411-0035 ファックス052-411-9987

□開館時間 9時30分～17時 □観覧無料

□休館日 毎週月曜日(祝日にあたるときは、その直後の平日)、
毎月第4火曜日(祝日を除く)、館内点検休館(10月3日～10月9日)、
年末年始休館(12月28日～1月4日)

- 交通 ●名古屋駅より地下鉄東山線「中村公園」下車、3番出口から北へ徒歩10分
市バス名駅25系統・中村巡回「豊国神社」下車、徒歩2分



■ 名 古 屋 市 博 物 館 ■

名古屋市博物館は1977(昭和52)年に開館した歴史系の総合博物館です。わたしたちの祖先が残した考古・美術・歴史・民俗に関する資料を集め、保管・保存し、公開しています。

1階 特別展示室・部門展示室

特別・部門展示室では、尾張地方の歴史・文化の特色を明らかにする企画展や内外のすぐれた文化遺産を紹介する特別展を開催しています。

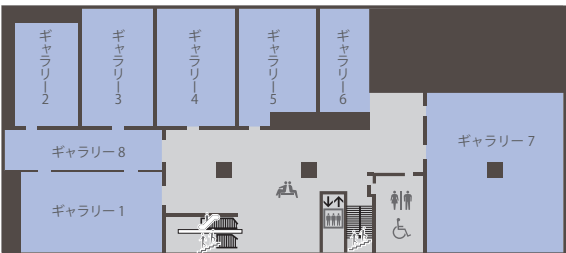


オーギュスト・ロダン作「考える人」
「考える人」の像の前で記念撮影ができます。

ミュージアム・ショップ
オリジナル・グッズ、歴史書などを販売。

3階 ギャラリー

市民の作品発表の場として多くの展覧会が開催されます。



喫茶コーナー カフェ・サルターレ

コーヒーと軽食をご用意しています。営業時間は10時～16時30分。
無料休憩所も併設。博物館の建物を出て左にあります。

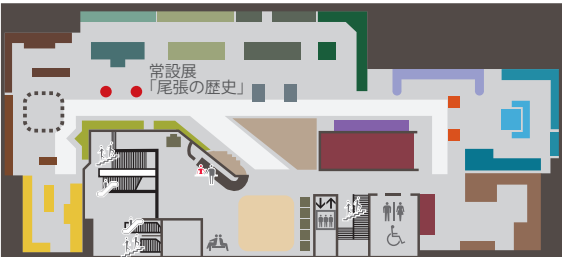
■ 「友 の 会」会 員 募 集 中 ! ■

- 入場割引:企画展・常設展は無料。特別展は当日券の半額。
□特典:年に2回の見学会・広報モニター会招待・
カフェドリンク割引・館事業情報郵送など。
□年会費:正会員3,000円 家族会員2,000円
□お問い合わせ:名古屋博物館

友の会事務局 電話052-853-2655

2階 常設展「尾張の歴史」

2階展示室では、常設展「尾張の歴史」を開催。原始から続くこの地方の歴史を16のテーマに分けて紹介しています。



時代	テーマ
日本の国の成りたち	1 旧石器 縄文 弥生
	2 古墳時代
	3 奈良 平安時代
貴族の世の中	4 鎌倉時代
	5 南北朝 室町時代
武士の世の中へ	6 桃安 山空
	7 江戸時代
武士の世の中	8 明治 大正
	9 昭和 平成
近代	10 昭和 平成
	11 昭和 平成
現代	12 昭和 平成
	13 昭和 平成
現代	14 昭和 平成
	15 昭和 平成
現代	16 昭和 平成
	17 昭和 平成

- 1 狩猟・採集の時代
- 2 稲作のはじまった頃
- 3 古墳とその時代
- 4 古代の尾張
- 5 窯業
- 6 中世の尾張
- 7 尾張の統一と信長・秀吉
- 8 尾張藩の成立
- 9 城下町の人々
- 10 近世尾張の文化
- 11 幕末維新の尾張
- 12 名古屋市の成立と近代産業
- 13 近代のくらしと文化
- 14 戦争と市民
- 15 なりわい
- 16 まつり

※テーマ10「近世尾張の文化」、テーマ16「まつり」は定期的に展示替えをおこないます。この他に小規模な企画展示をおこなう「フリールーム」などがあります(裏面参照)。「話題のコーナー」やその他のテーマも随時展示替えをおこなっています。

※ボランティアによる解説をおこなっています。
お気軽に声をおかけください。
(10時～12時、13時～16時)

表紙写真:特別展「模倣を着る」出品資料
白輪子地重輪小花模倣小袖装
(部分、松坂屋コレクション)

名古屋市蓬左文庫



4/12 5/31
春季特別展
家康から義直へー尾張藩誕生物語ー
天下統一を果たした徳川家康と尾張国統治を任された息子の義直。義直へ受け継がれた治世方針に着目しつつ、二人の生涯や義直の家康への思いを、遺品等からよみます。

6/6
企画展
祈りのこころー尾張徳川家の仏教美術ー
尾張徳川家伝来の華麗な経典・仏像・仏画や、供養のために寺院に奉納され、墓所へ埋葬された個人の遺愛品などから、大名家の人々が仏教に寄せた思いをひもときます。



重文 刺繍阿彌陀三尊来迎図(部分)
徳川美術館蔵

7/12 7/18
企画展
怪々奇々ー鬼・妖怪・化け物ー
古典文学に記された怪奇現象や、描かれた幽霊や鬼・妖怪などの世界をご紹介します。



武大夫物語絵巻(部分) 徳川美術館蔵

9/13 9/20
秋季特別展
殿さまが好んだヨーロッパー異国へのまなざしー
尾張徳川家に伝わる日本と西欧を関連づける品々は、国内でも類を見ない貴重なコレクションです。本展では、このコレクションを他家伝来品等と併せて一堂に紹介します。



銅版画「野生動物・鳥・魚の狩猟」
(スタートの原画による)
徳川美術館蔵

11/3 11/8
企画展
読み継がれた源氏物語
日本が世界に誇る古典の名作『源氏物語』の文化史をたどり、その魅力を紐解きます。また、五島美術館所蔵の国宝「紫式部日記絵巻」を特別公開します。



源氏物語絵巻 桐壺(部分) 個人蔵

12月14日(日) 12月15日(月) 12月16日(火) 12月17日(水) 12月18日(木) 12月19日(金) 12月20日(土) 12月21日(日) 12月22日(月) 12月23日(火) 12月24日(水) 12月25日(木) 12月26日(金) 12月27日(土) 12月28日(日) 12月29日(月) 12月30日(火) 12月31日(水)

1/5 1/31
企画展
竹ー日本の美ー
日本人にとって最も身近な植物の一つである「竹」にまつわる様々な作品から、竹とともに育まれた日本の美意識を探ります。



墨竹図風炉先屏風 狩野常信筆 徳川美術館蔵

2/6
企画展
尾張の百科事典ー御秘本『張州雑志』ー
尾張藩で「御秘本」として扱われた地誌『張州雑志』。本展では、本書に描かれた宝物・動植物・風俗等の色鮮やかな記録画を展示し、江戸時代の尾張の世界を紹介します。



津島天王祭図(『張州雑志』巻七十二)

名古屋市秀吉清正記念館

4/26 4/29
パネル展
武将と治水
水を制する者が国を制す。人間に不可欠な水を、戦国武将は、城の守備あるいは城破りに用いました。秀吉・清正の城下はじめ各地に残る水利用の跡を紹介します。



安田城跡 富山県



7/5
パネル展
天下人の城と戦い
戦国の城に張り巡らされていた守備と攻撃の工夫について、布陣図や縄張図とともに考えます。

縄張図

7/18 9/22
特集展示
明智光秀と秀吉・清正
光秀が信長を倒した本能寺の変は、秀吉にとっては天下を手にするための千載一遇の転機でした。本能寺の変前後からの秀吉と清正の足跡をたどります。



太閤記山崎合戦ノ図

10館内点検のため休館

10/10
特別陳列
兼松家
信長、秀吉、家康につかえた尾張の名将兼松正吉とその子孫について、兼松家から寄贈された資料を中心に紹介します。



足半(あしなか)

12/13
館蔵の絵画を中心に、秀吉と清正の生涯をたどります。

12/23
パネル展
秀吉清正物語 1

大徳寺焼香



清正虎退治

3/13
パネル展
秀吉清正物語 2

